



JPI催しのご案内

2012
9

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 平成24年9月19日(水) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1部会、税込)

第1部 194回包装資材研究会

13:15~15:00

【テーマ】アルミニウム箔の用途、特性、将来需要

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. アルミ箔の用途について | 2. アルミ箔の特性(長所、欠点)について |
| 3. アルミ箔の重要分野、将来期待される需要分野 | 4. その他及び質疑応答 |

【講師】東洋アルミニウム株式会社 箔事業本部 素材箔事業部 素材箔販売部長 田中 勝元氏
 【コーディネーター】雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所 食品加工研究室 主席研究員 包装管理士 菅原 宏智氏
 東洋科学(株) 営業開発部 2グループ グループリーダー 課長代理 包装管理士 金原 直樹氏

第2部 第193回包装ラインシステム化研究会

15:15~17:00

【テーマ】“いま医薬品業界でなにが起こっているか?”

今世界的に医薬品業界は大きな変革期を迎えていると言われている。1990年代に開発・許可された生活習慣病を中心としたブロックバスターと言われる大型商品群が2010年前後に特許切れを迎え、ジェネリック医薬品に置き換わられるリスクにあり、経営上の大きな問題となっている。また、従来の天然物からの抽出や化学合成で新薬を見付ける方法は既に世界中の製薬メーカーが可能と思われるあらゆる抽出物や化合物を検討し尽くしているような状況であり、従来と全く違う創薬の方法・技術が求められ、バイオ技術による創薬が注目をされている。バイオ技術を活用した医薬品開発技術の中で最も実用化が進んだのは抗体医薬品である。更に、世界の

医薬品市場の動向をみると、従来の先進国である米国・欧州中心の医薬品市場から、今後の経済発展が見込める新興国市場(BRICs)の成長率に注目して、新たに新興国市場に参入する動きが活発になってきた。最後に、世界のジェネリック医薬品市場の状況と比較しながら、特に日本のジェネリック医薬品市場の現状と今後について述べる。
 “いま医薬品業界でなにが起こっているか?”について
 ①2010年問題、②医薬品開発の新しいバイオ技術による創薬
 ③世界の医薬品市場、特に新興国市場の台頭・拡大
 ④日本のジェネリック医薬品市場の状況
 以上の4つの観点から紹介する。

【講師】日本連絡事務所 所長 大久保 比呂司氏
 【コーディネーター】CKD(株) 顧問 飯島 剛氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

9月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

